

公共交通について考えてみませんか

阿南市地域公共交通計画を策定

本市では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、令和3年4月阿南市地域公共交通活性化協議会を設置し、新たな公共交通のあり方に関して協議を重ねて参りました。

地域公共交通に関する課題を整理し「阿南市地域公共交通計画」を本年5月に策定しました。

皆さんは普段どのような交通手段を利用しますか。JRやバス、タクシーといった公共交通よりも「自家用車」による移動をされている方が多いのではないでしょうか。

現在、自家用車を使っている人も、いずれ自分自身や周囲の人が運転免許証を返納することになったり、子どもが通学で利用することになったりしたとき、身近な移動手段がないと考えると、公共交通の問題はほとんど全ての人に「自分ごと」になります。公共交通のこれからについて、他人事ではなく自分ごととして一緒に考えてみませんか。

公共交通は、運転手不足や運転手の高齢化、経営悪化により路線の維持が困難な状況となっています。本市においては地域にとつて欠かせない公共交通を守るため、公的負担をしていますが、利用客の減少等により負担額の増加が懸念されています。

このような話を聞いたときに



循環バス(ナカちゃん号)



伊島〜答島連絡船「みしま」



ご近所ドライブパートナー事業(加茂谷地区)



JR四国

阿南市地域公共交通計画

基本方針 1 (目標)

多様な担い手による地域公共交通ネットワークの維持

JR、バスなど既存の地域公共交通を軸として、特に市周辺部において、市民を始めとする多様な担い手による新たな交通モード導入も視野に入れ、移動手段を確保していきます。また、需要に応じた路線の見直しやわかりやすい情報提供などを通じて、利便性の高い地域公共交通ネットワークを維持していきます。

- ① 地域公共交通の役割設定 継続
- ② 循環バス(ナカちゃん号)路線の効率化(運行形態の効率化) 短期
- ③ 新野線の新たな交通モードを含めた見直し(路線、運行形態の最適化) 短期
- ④ 需要に応じた路線・ダイヤの見直し 長期
- ⑤ 乗合タクシーの導入検討 短期〜中期
- ⑥ 住民主体による地域内交通の担い手の育成 短期〜中期
- ⑦ 交通結節点の機能向上 短期・長期
- ⑧ わかりやすい路線情報の提供 短期〜中期
- ⑨ 乗継割引、運賃制度の検討 中期〜長期
- ⑩ 事業者間連携 継続

基本方針 2 (目標)

誰もが参画・協働し「乗って残す」地域公共交通

市民一人ひとりが自ら地域公共交通を利用することで残していくという意識を醸成することで、地域公共交通の利用促進を図り、維持確保を図ります。

- ⑪ 公共交通の利用促進 継続
- ⑫ 地域公共交通見直しに向けた地域座談会の実施 短期〜長期
- ⑬ 施設やイベントとの連携 継続

基本方針 3 (目標)

まちづくりと連携し快適に暮らせる持続可能な地域公共交通

JR、バスなどの既存の地域公共交通インフラだけでなく、市民を始めとする多様な担い手による移動手段との連携により、市内における拠点間を結ぶ軸としての地域公共交通を確保し、拠点連結型によるまちづくりを行い、すべての市民や来訪者に対して持続可能な地域旅客運送サービスの提供をめざします。

- ⑭ 地域公共交通の持続可能な運営 継続
- ⑮ 将来のまちづくりと連動した戦略的な路線の検討 長期

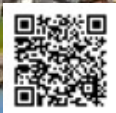
〈実施期間〉 全体計画は、令和4(2022)年度から令和13(2031)年度までの10年間とします。計画開始5年後の令和8年度に見直しを行います。

〈実施スケジュール〉 短期:1〜3年 中期:4〜7年 長期:8〜10年 継続:計画期間内にわたって継続して実施。

今後は、市民の皆さまの積極的な参画をはじめとする多様な担い手を創出し、交通事業者、行政がより綿密な連携の下、持続可能な地域公共交通の実現に向け、計画に位置付けた重点施策の着実かつスピード感を持った実践に積極的に取り組んで参ります。

人口減少問題乗り越え豊かでキラリと輝くまち

地域公共交通をめざす将来像



※「阿南市地域公共交通計画」は市ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ まちづくり推進課 ☎22-1596